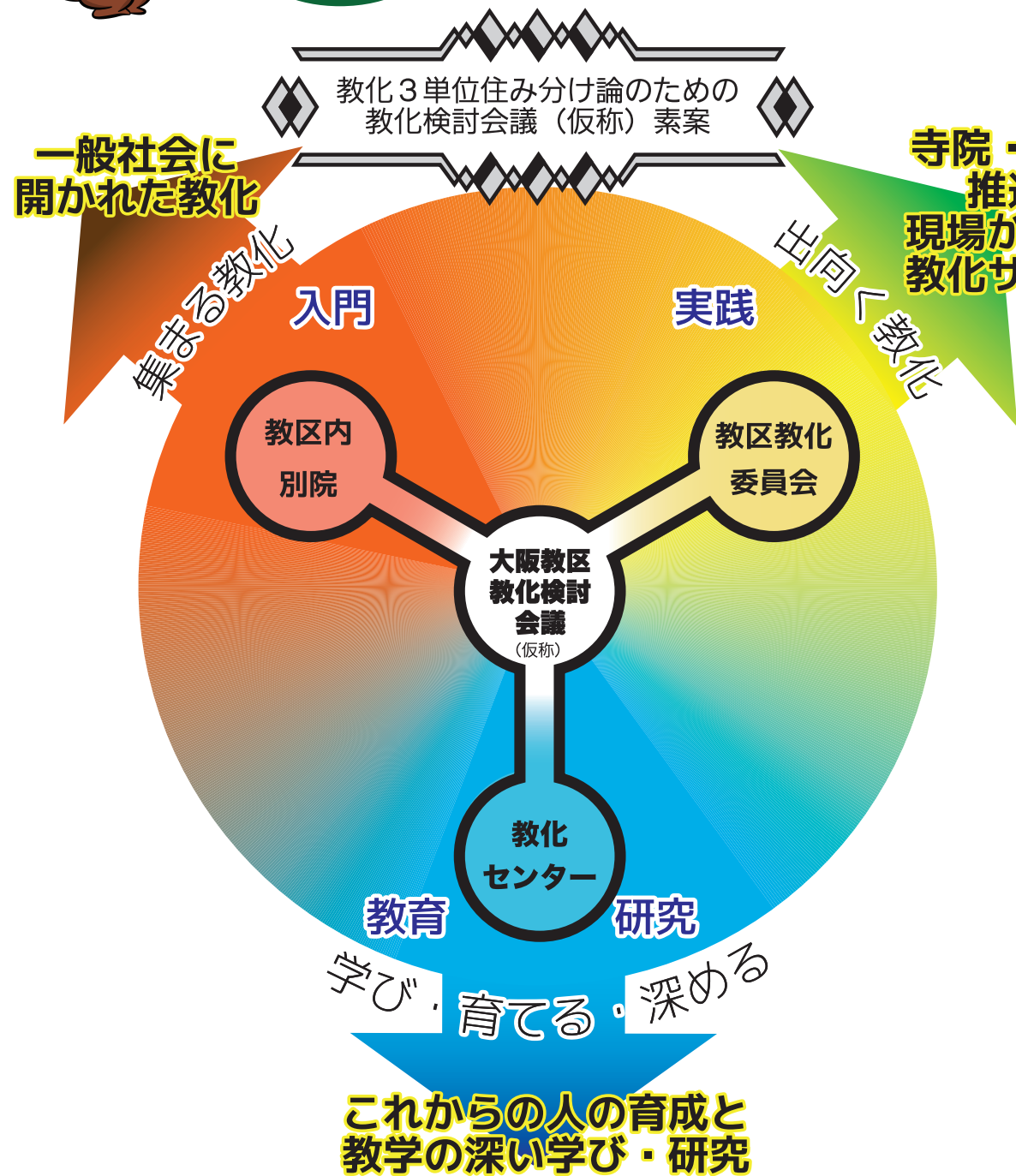




現場の声を  
聞きます！

# 教区教化体制策定委員会が提案する新教化体制(案)

あたらしい  
組織図案です  
みてくださいね！



ご存知のように、大阪教区には現在、教区教化委員会・教区教化センター・そして教区内別院の3つの大きな教化関係組織があります。(左上図)

まずもってこれからの新しい教化体制では、この3組織を結ぶ「大阪教区教化検討会議(仮称)」を設置します。このことにより3組織が常に連絡し合い、情報の共有を行うことができるようになります。たとえば、各組から寄せられたご要望に応える際、どの組織が受け皿となるのがもっともふさわしいかなどを話し合い、互いに住み分けることで、これまで以上に緻密に現場の教化体制をお支えます。

これら3組織の住み分けのため、それぞれの役割についても検討いたしました。

まず、教区教化委員会は「出向く教化」と位置づけられます。これまで培った実績、すなわち講師の情報や、フィールドワークの情報は、各組・各寺院に出向いてお届けするのが一番だと考えたわけです。そして教区内各別院は、その立地を活かし、「集まる教化」と位置づけ、仏教にご縁のなかった一般の方にも教化の眼差しが広がることを願います。

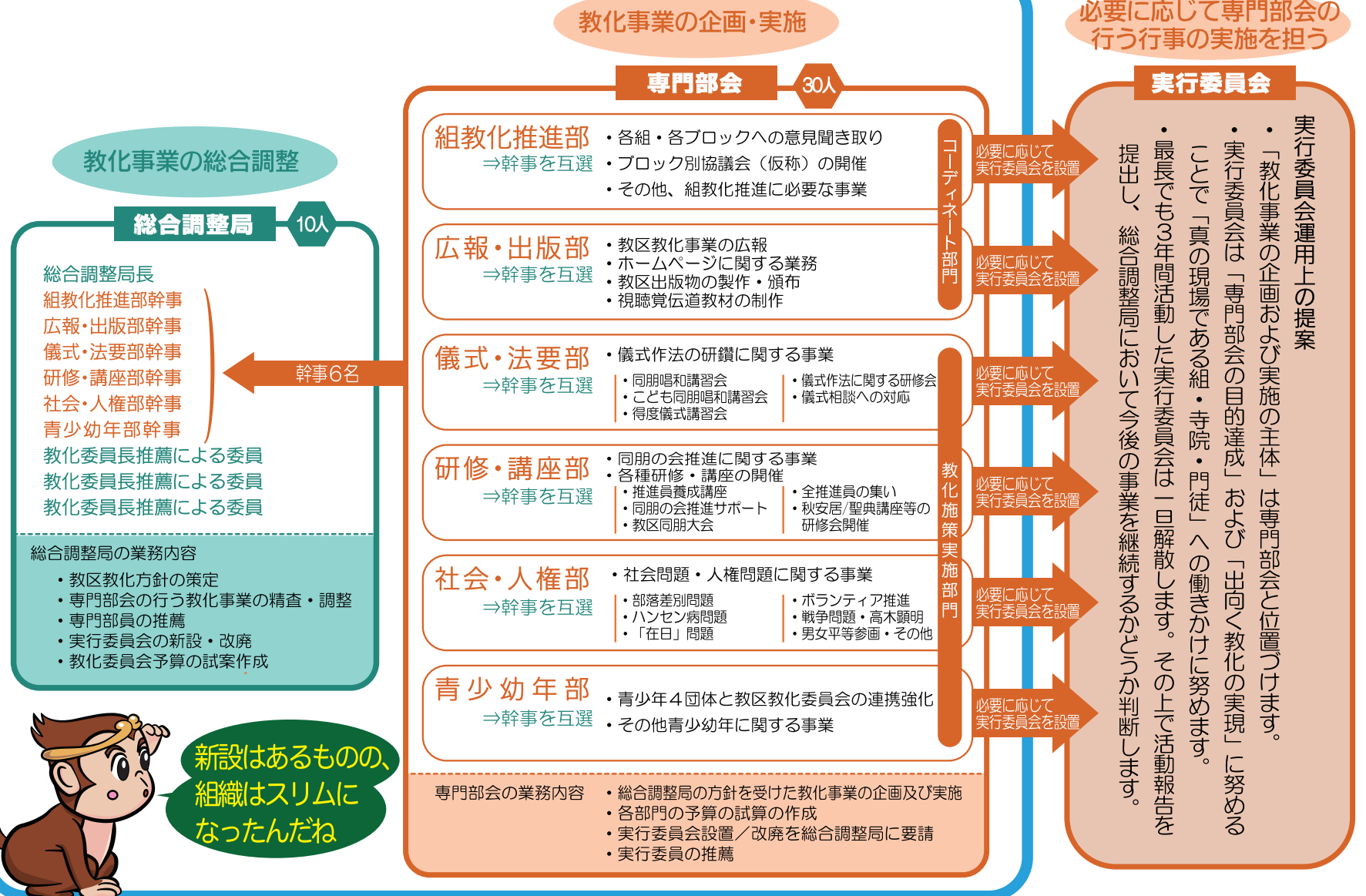
また教区教化センターは「学び・育てる・深める」として、「これからの人の育成と教学の深い学びと研究」を行うことを願います。

さて、「教区教化委員会」内には、「組教化推進部」と「広報・出版部」が新たに設置されます(右下図)。

組教化推進部は各組・各寺院、とき

## 教区教化委員会

34人



には各ブロックにおもむき、それぞれ現場で抱えておられる課題をお聞き取りし、教化委員会はもちろんのこと、教区教化検討会議にもその報告を行います。

また、広報・出版部では全寺院発送などでお届けしていた膨大な教化情報を集約し、皆さまに伝わりやすくするための情報の整理と発信を行います。

実はこれらの改革は今の教化体制を大幅に変更するものではありません。といいつつも、これまで以上に皆さまのお近くへ「出向く・聞きとり・発信」し、それらを通して定期的に「自己点検」がなされ、「スリム化」を行えることが改善の目玉となっております。このことにより教区の教化体制が「真の現場」である寺院とご門徒をお手伝い出来る、そういう体制を教区の皆様方と作り上げようと思えます。

新設はあるものの、  
組織はスリムに  
なったんだね